

令和8年度 指導者協議会理事候補者名簿

No.	氏名	指導歴	理事として実現したいこと	現役職
1	原田直美	10年	2年前に協議会の理事にさせていただきました。その前より任意の団体をつくり、場所を確保しイベントを開催したり地域のイベントに協力しておりました。協議会の理事になって更に東京都の活動を知り、それを練馬区のパラスポーツ指導員に伝えて参りました。 今後は東京都パラスポーツ指導者協議会の理事として、練馬区だけでなく、他区市町村の団体と指導員と地域をつなげていく活動をしていきたいと考えています。私も含め、指導員の方々にはたくさんの経験を積み、障害のある方への理解を深めていきたいとの思いがあります。協議会に携っている方々、障害者スポーツ協会の方々からのご教授いただきながら運営できればと思っております。 東京都のパラスポーツを今以上に障害のある方々に広げたいと考えております。ぜひ、ご協力させていただきたく、理事に立候補いたします。	地域指導部
2	本城 美智子	20年	2026年1月に東京都障害者総合スポーツセンターで開催の東京CUP大会にスペシャルオリンピックス(SON東京)の選手が参加。地域でSO卓球教室を実施、6月の夏季大会前練習サポートをしています。2月に東京都・東京都スポーツ協会・パラスポーツ指導者協議会主催パラスポーツフォーラムの分科会で、指導者交流会では活動内容と留意点を話し合いグループで課題を共有して有意義でした。また競技団体の東京都サウンドテーブルテニス協会は卓球ネットの下を打合う競技の練習会を障害者総合スポーツセンターと多摩障害者スポーツセンター会場で実施。2月のスポーツ協会主催の初級審判養成講習会はパラスポーツトレーニングセンターで競技者と審判の協力でのパラスポーツの魅力を伝えています。	地域指導部
3	神保 秀久	28年	東京オリパラを契機とした、スポーツを通じての障害者理解の機運も少し停滞してきたように感じます。障害の有無に関係なく、誰もが身近な場所で一緒にスポーツを楽しむことが出来る環境を創っていきたく考えています。	副会長
4	秦 一浩	25年	現在地域指導部で指導員の連携交流等の充実を図っていますが未だ十分とは言えず更なる充実した活動にするためつとめたい	地域指導部
5	今榮 寛美	1.5年	地域指導部員として活動する中で、特に初級パラスポーツ指導員資格を取った直後の指導員の皆さんは身近な地域での活動情報を欲すると同時に指導員同士の横のつながりも求めていることを実感しました。私が理事になった折には、複数部会による協働事業も検討し参加者満足度の高い事業展開を目指すとともにより充実した情報提供に努めることで、パラスポーツ指導員の資質向上および都内のパラスポーツ活動の活性化を後押ししていきたいと思っております。	地域指導部員
6	保坂 吉則	7年	引き続き現在地域指導部会で取り組んでいる交流会の実施などを中心に、東京都パラスポーツ指導者協議会を盛りあげていきたい。 具体的には、現在地域で活動していることを生かして、地域活動の活性化と組織の強化に取り組む。パラスポーツ指導員の活躍する場を指導者協議会として創出していく。	地域指導部会長
7	植田 敏郎	43年	①東京都及び東京都障害者スポーツ協会との情報共有を積極的に行い連携の強化と共催事業の円滑化 ②会員にとって魅力ある活動、研修会内容の十分な検証を行い実施する ③理事会、事業部会メンバーの一層の活躍 ④都内複数の区市町村をまとめブロック組織を立ち上げ、会員同士の顔の見える関係づくりとネットワークの構築 ⑤予算の適正、有効な支出(会計監査専門家導入)	会長
8	木村 晃	8年	障がいの有無にかかわらず一緒にスポーツを楽しむ環境を整え多く提供していきたい。そのためにパラスポーツ指導員の活躍の場や交流を深めていく後押しを行っていきます。 また各地区の社協、スポーツ推進委員等の関連団体と連携して地域の実情に合ったスポーツする場や活動に必要な知識習得する研修会等の提案等行いレベルアップを図っていきたく考えています。	広報部
9	佐藤 健	17年	20代、30代の次世代を担う指導員(以下、次世代)の事業参加が少ない。また、力を発揮できる機会が少ない事を問題視し、活動をして参りました。 具体的な活動内容として、各事業内にて次世代に対し積極的にコミュニケーションを取り他事業への参加の呼びかけ及び情報提供。 パラスポーツの現場にて、指導員の魅力を説明し、新規資格取得者の増加を推進(現役パラアスリート3名、アスリート1名の新規資格取得) 今後は、組織としてその育成と登用の在り方を見直す必要があると考えています。具体的には、若手指導員が主体的に挑戦できる場を増やすとともに、経験豊富な指導員との連携を強化し、実践を通じて成長できる環境づくりを推進していきます。	研修部会
10	柿谷 愛子	30年	理事として、指導員と障害者がスポーツ活動を通して楽しさ、やりがい、生きがいを感じられるようなサポート体制を構築し、指導員、トレーナーとしての経験と知識・技術を生かし、みんなが安心してスポーツに取り組めるような環境を皆様と考え話し合いながら実施していきたいと思っております。	トレーナー部
11	井上 實	30年	研修での学びを障害者福祉と障害者スポーツとを繋げ、知的障害児者がいつでも、どこでも楽しめる場所を作りたい(取説なども)	研修部会・事務局長
12	本多 三重子	12年	地域で活動する指導員が活躍することができるような研修の充実。又指導員の求める組織、団体とのマッチングを進めていくこと。そして障がい者への理解をより深めると共に、スポーツを楽しめる共存社会へ向かっての活動に取り組んでいきたい。	研修部・事務局
13	秋山 なるみ	37年	多くの方に指導員協議会をしていただくための活動と、初級を取得した方、障害者スポーツ、パラスポーツをもっと深く学びたい方に実技を含め体験できる場の提供をしていきたい。	広報部長・事務局・副会長
14	渡邊 ひろ子	22年	同じ目標に向かって行く仲間を大勢増やし、障害の持った方々がもっと生きやすい・活動しやすい場を多く創って行きたい。	研修部員